

病院の概要

- 病床数 350床
- 医師数（研修医を除く） 114名（うち指導医数 40名）
- 研修医数 1年目 10名 2年目 10名
- 研修医の主な出身大学 順天堂大学・埼玉医科大学・北里大学・滋賀医科大学・富山大学・慶應義塾大学・東邦大学・杏林大学・日本大学・東京女子医科大学・筑波大学・近畿大学・弘前大学・獨協医科大学・長崎大学
- 診療科 内科 緩和ケア内科 消化器内科 神経内科 循環器内科 呼吸器内科 小児科 外科 乳腺外科 形成外科 整形外科 リハビリテーション科 脳神経外科 心臓血管外科 皮膚科 泌尿器科 呼吸器外科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 麻酔科
- 1日平均外来患者数 1066.5名 ● 1日平均入院患者数 329.3名
- 主な認定施設 日本内科学会専門医教育病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本循環器学会教育認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本小児科学会専門医研修関連施設、日本周産期・新生児医学会専門医制度指定施設



研修プログラムの特色

● 基本コース

1年目に8か月間各科1～2名程度で内科系研修を行います。救急外来では年間100例程度搬送されてくるCPAの初期対応からcommon diseaseまで幅広く初期対応を学びます。基本コースでは外科・麻酔科・産科・小児科が必修です。2年目は将来のことを考え、選択科目で研修ができます。選択期間が9か月と長いことも特徴です。初期研修が終わったら、1人で内科当直しても怖くない、と言えるくらいのレベルを身に付けられます。

● 小児科・産婦人科コース

小児科または産婦人科希望者を対象としています。4月から主科で研修を開始することで、その後、将来をイメージしながら他科での研修ができるようになっていきます。2年目には大学病院などの専門病院やクリニックで研修し、視野を広げられるようにしています。きめ細かい指導を特徴とし、大学病院の小児科・産婦人科コースにも負けない内容です。すでに小児科や産婦人科と決めている方にはお勧めです。

プログラム 例 基本コース（募集定員12人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科系								麻酔科		産婦人科	外科
2年目▶	救急	小児科	選択科目									地域医療

必修科目として内科系8か月、麻酔科2か月、産婦人科、外科、小児科は最短1か月の研修を必修とします。1年目は内科系8か月と麻酔科2か月で研修を行います。救急、産婦人科、外科、小児科は1年目または2年目の前半で研修します。救急研修については、救急外来での1か月の研修及びオリエンテーション後2年間の日当直（月4回として96～104回で3か月間に相当）で研修します。2年目に1か月間の地域医療研修を診療所等で実施し、9か月間を研修医自身が希望する選択科目に充てます。また、各科別プログラムとは別に全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を共通プログラムとして研修します。

その他 小児科・産婦人科コース（募集定員4人）

研修医の処遇

- 給与▶約39万円/月
- 諸手当▶通勤手当
- 保険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労働保険
- 勤務時間▶8時30分～17時15分
- 当直▶あり（4回/月）
- 休暇▶祝日、年末年始、有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿舎▶あり（希望者多数の場合は入居できないことがあります）
- その他▶健康診断年2回、インフルエンザ予防接種無料

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・慶應義塾大学病院
- ・大泉病院
- ・勝海外科
- ・清水医院
- ・天野医院
- ・志木北口クリニック
- ・東武中央病院
- ・東長野病院
- ・秩父市立病院、他

当院のキーワード

当院の特徴

- 当院は地域に根ざした中核病院として、国や埼玉県より地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、循環器病基幹医療施設、肝疾患診療地区拠点病院として指定を受けています。また平成27年10月より地域周産期母子医療センターに指定され、小児・周産期医療も推進しています。そして更なる機能向上のため、平成30年度に新棟200床を開棟する予定です。現在職員一丸となって質の高い医療を行っております。
- 研修医は年1回実施される国立病院医学会や埼玉県医学会の参加のほか、月1回実施される地元医師会との合同カンファレンスや抄読会、症例検討会、各種勉強会に出席することができるなど、研修環境も充実しています。また、研修期間中半年に1回、研修担当責任者が面接を実施して研修状況を確認し、きめ細かい指導を行っています。
- 立地は都心からのアクセスも良好ですので、将来に備えて都内での講習会の参加が容易です。一度見学していただき、当院の雰囲気を感じて、自分の求める研修があるかを確認して下さい。やる気のある方大歓迎です。

研修責任者から

埼玉病院は、地域で中核となる公的病院として、地域医療を実践しています。救急の現場では、指導医とともに研修医が多くを学んでいます。また、当院には、埼玉県内でも有数の特徴ある診療科があり、選択研修の幅が広がっています。学術面は院内学会、国立病院学会での発表を通じて学会発表についても指導を受けます。指導医とともに全国で開催される学会に参加し、発表を経験することは貴重な経験となるでしょう。共通講義、抄読会、症例検討会その他の勉強も豊富です。このような環境で、積極的な姿勢を持ち、2年間の研修生活を仲間とともに過ごせば3年目以降の飛躍に役立つと信じています。



小児・産科センター部長/プログラム責任者
上牧 勇

先輩研修医から

埼玉病院で初期研修をして良かった。そう思える環境が埼玉病院には揃っています。

まず、研修医は少人数制であり、1人の研修医が上級医と接する時間は多く、実際に臨床で行われている医療を学び、実践することができます。手技に関しても積極的にやらせてもらえる機会が多く、指導を受けながら身になることができます。1学年10人前後ということもあり、研修医1年目と2年目の仲間とても良いです。また、定期的に行われる抄読会や勉強会も多く、興味があれば学会発表も研修医の早い時期から経験することができます。

何よりコメディカルの方をはじめ、病院全体が温かい雰囲気であり、たくさんの職種の方に指導をしていただきながら、成長していく日々を実感しております。医局も総合医局ですので、他科の先生方にも気軽に相談することができます。

環境面でも平成22年に新棟が建ち、30年度には200床の増床を予定しておりますし、埼玉病院といってもすぐ東京ですので、都心からのアクセスも良好です。

是非一緒に働きましょう。お待ちしております。



研修医2年目
有居 真美

女性医師支援コーナー

当院では、産前・産後休暇、生理休暇、育児休業制度があるほか、セクハラ・パワハラに対しては相談窓口を設けて対応しており、相談員には電話のほかメールでも相談ができる体制を整えています。

また、女子更衣室にはシャワー室が完備されており、いつでも使用することができます。

連絡先

独立行政法人国立病院機構 埼玉病院

管理課 研修医事務担当者

〒351-0102 和光市諏訪2-1

TEL 048-462-1101(代表) FAX 048-464-1138

E-mail 209sy01@hosp.go.jp

URL <http://saitama-hospital.jp/>

アクセス 東武東上線 成増駅より東武バス・西武バスともに7分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時受け付けています。必要書類を左記住所まで郵送してください。詳しくはHPをご覧ください。
- 埼玉病院説明会は3月と8月に開催予定です。
- 埼玉病院facebookをご覧ください。
<https://www.facebook.com/埼玉病院-644568159012220/timeline>